

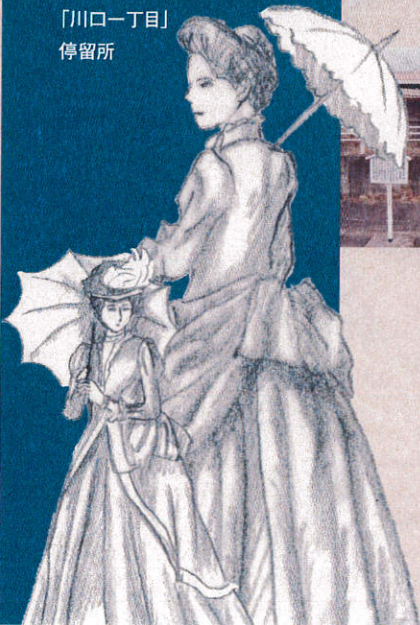
川口エリア

Kawaguchi area

開港当時、大阪開市開港に備えて運上所(税関)が設置された。その後、貿易商などの外国人の居住区である「居留地」が設けられ、大阪の文明開化の発祥地となった。

【アクセス】

- 最寄地下鉄駅
中央線・千日前線
「阿波座駅」8号/10号出口
- 最寄バス停
市バス88号系統
「川口一丁目」
停留所



① 大阪府庁舎
旧大阪府庁跡碑

木津川の対岸から「江之子島政府」と呼ばれ、初代庁舎の旧西町奉行所から明治七年に新築、移転された二代目「大阪府庁舎」を望む風景。当時、江之子島には大阪府庁が建設されるなど大正十五年までの半世紀の間、行政の中心地であった(写真右)。現在、その跡地である大阪府立江之子島文化芸術創造センターの玄関に石碑が建立されている。(江之子島二丁目)



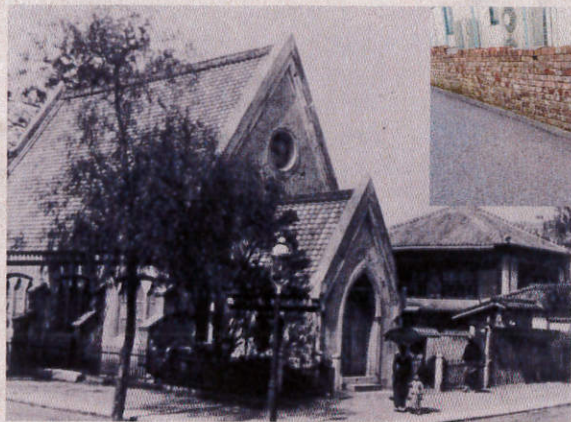
② 木津川橋銘板

慶応四年、川口居留地と江之子島を結び、新大橋として架けられた。明治九年には、橋梁など一部が鉄製となり、橋面は、歩道と車道が分離された国内最初の橋となった。その後、明治十八年の洪水で流失し、明治二十七年に再架橋され、現在の橋は、昭和四十一年に架けられた。



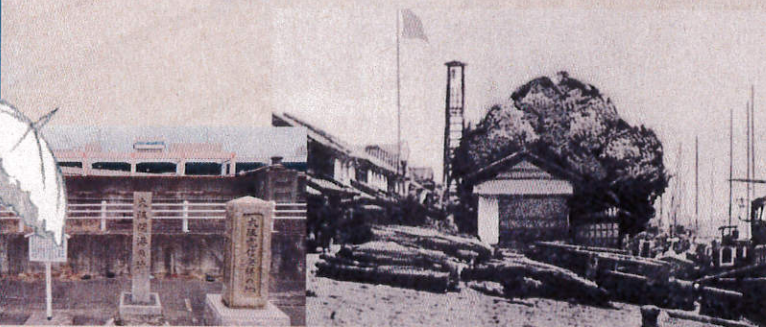
③ 外国人居留地跡
居留地の痕跡を残す礎石

旧川口居留地内にあった「聖テモテ教会」(写真左)。雑居地跡地に建てられた「川口聖マリア幼稚園」周辺に当時の痕跡である礎石が残っている。



④ 大阪港開港の地 大阪開港の地碑

明治元年、大阪港開港当時の川口波止場の様子(写真右)。現在は、居留地に隣接した雑居地にあった運上所電信発祥の地、開港の地碑などの石碑が建立されている。



⑤ 旧川口居留地全景 川口居留地跡碑

開港され多くの外国人が住んでいた「川口居留地」の全景で手前は木津川橋(写真右)。
本田小学校の西北隅に石碑が建立されている。

